



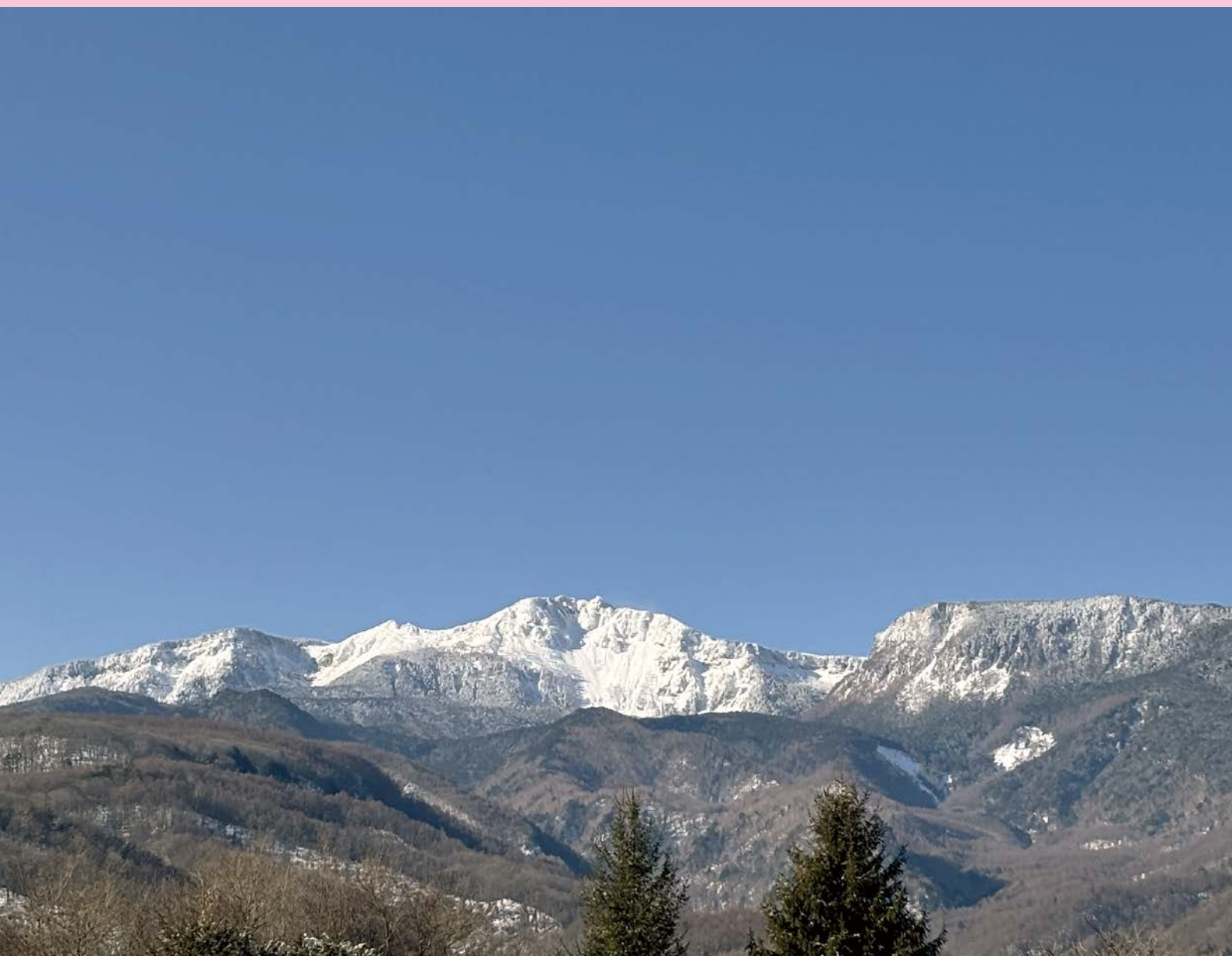
議会だより

12月定例会号

令和7年1月24日発行

No.171

こうみ



新春を迎えた八ヶ岳

12月議会 ー第4回定例会ー

こんなことが決まりました

議案質疑

一般質問

議会報告会

県議長会表彰・編集後記

2

4

5

10

12

きかせて みなさんの夢

みなさんの未来に寄り添うために

12月議会第4回定例会で

こんなことが決まりました

●業務報酬基準の準拠と業務内容の明確化について

陳情者
一般社団法人
長野県建築士事務所協会
会長 伊藤 公績

一般社団法人
長野県建築士事務所協会
佐久支部長 小林夕起男
賛成多数で採択

●価格による入札方式における最低制限価格等の引上げと入札方式に偏らない方式における適正価格の設定について

陳情者
一般社団法人
長野県建築士事務所協会
会長 伊藤 公績

一般社団法人
長野県建築士事務所協会
佐久支部長 小林夕起男
賛成多数で採択

●2000年基準前の新耐震基準で建てられた木造住宅を加えた耐震化助成制度の創設・拡充について

陳情者
一般社団法人
長野県建築士事務所協会
会長 伊藤 公績

一般社団法人
長野県建築士事務所協会
佐久支部長 小林夕起男
賛成多数で不採択

●建築士事務所賠償責任保険への加入について

陳情者
一般社団法人
長野県建築士事務所協会
会長 伊藤 公績

一般社団法人
長野県建築士事務所協会
佐久支部長 小林夕起男
賛成少数で不採択

●小中学校の大規模改造（空調整備）事業の促進に関する意見書

全員賛成で採択し、関係大臣に意見書を提出しました。

第4回定例会で賛否が分かれた議案

(議案名簿)	(議員氏名)									
	黒澤 敦史	鷹野 文則	篠原 哲雄	井出 和人	渡邊 晃子	的埜美香子	井出 幸実	品田 宗久	小池 捨吉	篠原 伸男
第6次小海町長期振興計画後期計画の策定について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
業務報酬基準の準拠と業務内容の明確化について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×
価格による入札方式における最低制限価格等の引上げと入札方式に偏らない方式における適正価格の設定について	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×
2000年基準前の新耐震基準で建てられた木造住宅を加えた耐震化助成制度の創設・拡充について	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×

令和6年度一般会計補正予算（第4号）全員賛成で承認

747万円を増額 総額47億1,189万円

【財源の主なもの】

- 衆議院議員総選挙委託金 724万円

【歳出の主なもの】

- 衆議院議員総選挙費 747万円

令和6年度一般会計補正予算（第5号）全員賛成で可決

476万円を減額 総額47億713万円

【財源の主なもの】

- 町税 3,511万円
- 地方特例交付金 △1,039万円
- 地方交付税 △1,690万円
- 国庫支出金 973万円
- 県支出金 500万円
- 繰入金 △360万円
- 町債 △2,500万円

【歳出の主なもの】

- カーポート設置工事費 △1,140万円
- 防災行政無線更新工事 △1,650万円
- 定額減税調整給付金 △692万円
- 介護訓練給付費 1,950万円
- 児童手当 614万円
- 森林活用環境保全業務委託費 310万円
- 美術館浄化槽修繕工事 △605万円

令和6年度特別会計補正予算 全員賛成で可決

介護保険事業特別会計（第2号） 582万円を増額 総額7億4,290万円

後期高齢者医療特別会計（第1号） 218万円を減額 総額8,813万円

簡易水道事業会計（第1号） 31万円を増額 総額9,631万円

●第6次小海町長期振興計画（後期計画）の策定について

町民アンケートに基づき、令和7年度から令和11年度までの後期5か年計画を策定するものです。

賛成多数で可決

●条例改正

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について

令和7年6月1日に刑法等の一部を改正する法律が施行されることによる改正です。条例中の「禁固」「禁錮」「懲役」を「拘禁刑」に改めるものです。

全員賛成で可決

●小海町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について

登録申請及び証明書の性別欄を廃止するものです。また、コンビニ二交付に対応するため、マイナシ

令和6年第4回小海町議会定例会が12月3日から17日まで15日間の会期で開催されました。条例改正案3件、補正予算案5件、陳情4件、追加議案として発議1件、事件議案1件の合計14件で審議が行われ、陳情3件を除き、すべての案件が可決・承認されました。一般質問では、4名の議員により行われ、町の考えをいただきました。



4名の議員が町政を問いました

一般質問



- ご不明な点は議員にお尋ねください。また正式な記録は町ホームページにある会議録をご覧ください。
- YouTubeで動画を視聴できますので、是非ご覧ください。



YouTube配信QRコード

6ページ	移動トイレ・キッチン・給水カーの導入を!!	篠原 伸男
7ページ	ワイナリー建設を検討する段階では?	黒澤 敦史
8ページ	児童発達支援施設あゆみ園の認識は	渡邊 晃子
9ページ	収入保険加入のための補助は出来ないか	井出 和人

○一般質問とは

定例会において、議員が町の施策の状況や方針などについて、報告、説明を求めたり質問することをいいます。

議案質疑

- 憩うまちこうみ事業施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- 現在どこが管理しており、利用状況はどうか。また、指定管理料についてはどうか?
- 総務課渉外戦略係が管理をし、前年度は203名の利用がありました。指定管理料については協定の中で定めることとなります。
- 令和6年度一般会計補正予算(第5号)関係
- 衆議院議員総選挙の委託金について、補正4号と5号に分けた意味は?
- 4号につきましては概算の予算額となっており、精算した金額について5号に予算計上させていただきました。
- カーポート設置工事の予算皆減は調査不足ではないか?
- 代替案についての説明と、役場裏障がい者専用駐車場の除雪及び休日夜間入口に自動ドアの対策を。
- 皆減につきましては申し訳ありません。代替案につきましては、正面玄関へ信州パーキングパーミット制度対象の駐車区画を確保する予定です。また、駐車スペースに雪を溜めないような除雪作業に努めます。
- 開催予定の都市計画審議会の内容は?
- 中部横断道ではなく、都市公園に関する審議会の開催を予定している。
- 八峰の湯のオーダーシステムの検討状況は。人員削減が目的か?
- 先進地視察等を行い、可能な限り自動化できるシステム導入を検討している。人員削減が目的ではなく、人材不足の中でも対応できるようにしたい。
- レンゲツツジ群落維持工事の皆減理由は?
- 下刈りや草刈りを行う予定でしたが、専門の業者より来年度に実施した方が良いということで、皆減させていただきました。



問 ワイナリー建設を検討する段階では？

答 町長 町が中心となり積極的に進めていきたい



くろさわ あつし
黒澤 敦史 議員

問 ワインには、テロワールと呼ばれるその地域が育てたブドウに宿る個性を重視する文化があります。町内で丹精込めて作られたブドウを原料に町内で醸造されるワインには、土地、水、空気、作り手などの小海の個性が凝縮されることとなり、それが小海ワインのテロワールと言えますが、ブドウが安定して収穫できる見込みが立った今、テロワールを持つ小海ワインを醸造するワイナリー建設を検討する段階を迎えています。

黒澤議員 過疎地の地域活性化は企業誘致、移住増の取組に代表されるように、いかに地元が独り勝ちするかという議論になりがちです。そもそも地方が持つ条件や環境が異なる中で地方同士が競争し、企業や人を奪い合うことは日

本という国、共同体にとって意味のあることでしょいか。たとえ競争に勝ち、お金があっても住民が孤立し、心の豊かさが損なわれているとすれば、地域活性化とは程遠い状態です。行政は安定した雇用機会を提供して住民の生活基盤を整え、子ども達が地域の文化や自然を学び、さらに住民同士が支え合う仕組みを強化しなくてはなりません。私はこのワイン用ブドウの取組は、まさに地域活性化に資する事業であると考えます。荒れ果てた遊休農地の再生、ブドウが実る美しい畑を探索する子ども達、小海のテロワールを体現したワインが、町のワイナリーで醸造されることで生まれる



ワイン用ブドウ栽培に携わる地域おこし協力隊

問 移動トイレ・キッチン・給水カーの導入を！！

答 町長 係で調査研究中。結論出来次第報告



しのはら のぶお
篠原 伸男 議員

問 石破内閣が誕生し、デジタル田園都市国家構想交付金に代わって、新しい地方経済・生活環境創成交付金で地方創成を図るようです。コンサルタント依存から地域の独自の取組を重んずるようですが、町はこの新しい交付金にどのように取り組みますか。

町長 この制度には四つの基本目標がありまして、地域がキーワードであります。まだ未確定の事項もあるが2025年は小海町飛躍の年と名付けて、この制度を活用していきます。

篠原議員 江戸時代、各部落は郷倉を設置して、年貢

交付金は自治体の独自性が求められています。そこで災害にあった場合、先程申し上げたものが移動できるのであれば、万が一の時に速やかに対応できます。移動トイレカー、移動キッチンカー、移動給水カーを川東・川西地区に各々一台ずつ配置し、平素はイベント等で利用する。町長のお考えは。

の貯蔵や凶作や災害に備えて穀類を保存していた。町内でもその郷倉が残っている部落がある。火葬場跡に川西地区は141号線を通らなくても寄り着くことができる。駅の二階も物置になっている。災害備蓄品は身近が一番。各部落毎に郷倉を持ち、災害に備えることが肝要と思う程、地球変動が懸念されます。



問 収入保険加入のための補助は出来ないか

答 産業建設課長 補助金制度を考えます



井出 和人議員

問 農業共済の収入保険の加入率が上がっております。町の農業調査の結果、農家戸数360戸、JAの野菜部会員96戸、収入保険加入戸数23戸です。農家が加入しやすい事業にするため、少額でも補助をする考えは。令和7年度の加入申し込み期限が迫っています。令和8年度の加入時に向けて研究してください。

答 6月議会では、「Jークレジット」は人手不足、費用がかかる等問題点が多く、難しいとの答弁がありました。しかし近い将来実施しなければならぬ事業だと考えます。林政アドバイザーを中心に研究チームを作り、進めようか。補正予算では、外部の業者に委託するとの事で

産業建設課長 「Jークレジット」は、大変難しく、町では「丸紅」さんに入っていたが、実施する予定です。他町村に先駆けてということではなく、環境政策の一つとして、また地域貢献のため、森林保全のためでもあります。調査費用はかかりますが実施します。

「大畑監的壕」の保存に向けたスケジュールは

問 「大畑監的壕」修繕整備費用が予定されていますが、整備に向けてスケジュールは、また文化財調査委員の欠員があります。補充の予定は。

教育次長 文化財等の維持管理修繕事業費として計上する予定です。案内板の設置、草刈費用、雑木の除去等の維持管理費用等、早急に予算化する予定です。また、文化財調査委員の補充については、1名の欠員が出ています。年齢



構成を見ながら検討します。

問 児童発達支援施設あゆみ園の認識は

答 町長 絶対必要であり充実させていくのが本当の姿



渡邊 晃子議員

児童福祉の充実について

問 児童発達支援施設あゆみ園の現状・課題等は。

町民課長 若い職員にシフトしていきたい。6か町村の会議の中でも申し出ておりますが、各自自治体のほうでも保育士が集まらない現状でございます。

問 処遇の改善は。

町民課長 正規職員だとか検討はしておりますが、なかなか足並みがそろわない現状。

問 設置している小海のリーダールとしてぜひリードを。

町長 ご厚意も受けているなかでの運営でございます。慎重かつ積極的に推進していきたいと思っております。

問 相談支援体制の充実は。

町民課長 こども家庭センターを設置し、職員・保健師等の整備を考えてございます。

問 保育所の対応は。

子育て支援課長 定期的に臨

床心理士の先生を派遣、支援の在り方を担任の先生と相談できる体制をとっております。これからは、年長だけでなく、年中、年少の様子も教育委員会、保健師と共有しながら連携を図ってまいります。

教育の充実について

問 不登校児童生徒が全国的にも増加。対策は。

教育長 中間教室復活について、自分の通う学校の近くにあることが一番望ましい。豊かな経験、しっかりとした指導力のある方をお願いすべきと感じておりますが、なかなかそういう方がおいでにならない。学校、行政がしっかりと

連携して支援をしてまいりたい。

問 物価高騰等のなか、教育費の高さが問題になっている。就学援助を拡げられないか。

教育長 継続的に周りの状況も加味しながら制度を構築していくものと理解しております。今検討中でございます。

問 奨学金制度、公務員は除くとなつていますが、保育士など人材不足の中、ケア労働への拡大や金額の拡大の考えは。

教育次長 来年度から公務員も支給対象に含める改正を予定しております。



第1回小海町 議会報告会

令和6年10月20日（日）に、小海町議会として初めて議会報告会を北牧楽集館多目的ホールにおいて開催しました。当日頂戴したご意見や質問、報告させていただいた内容についてお伝えします。

総務産業常任委員会

次の2点について報告を行いました。

- 1 ワイン用ぶどう栽培経過について
定植からおよそ2年4ヶ月が経過し着果も確認されており、令和6年度は230kgほどの収穫を見込んでいます。今後は収穫量の推移や試験醸造などの結果を踏まえ、小海町推奨品種の設定へ向け引き続き試験栽培を行っていく予定です。報告後の質疑応答では、参加者から「ぶどうのべと病の対策」に関する質問が出されました。

- 2 行政視察
山形県高島町の「地産地消・食育事業」および岩手県紫波町の「環境型まちづくり」について報告を行いました。



総務産業常任委員会の報告

民生文教常任委員会

今年6月に視察した岩手県大槌町の東日本大震災の状況とその後の防災状況について、復興まちづくりの方針である「減災」と「多重防災型のまちづくり」について渡邊晃子議員より報告しました。

もう一点は、デマンド交通視察で、埼玉県飯能市にある交通空白地有償運送第1号の奥武蔵らくらく交通と佐久穂町のデマンド型乗り合いタクシー「げんでる号」の視察について鷹野文則議員より報告しました。報告後、質疑応答を行い、小海町の災害はどういったことを想定しているか。交通政策は、視察報告だけで具体的に小海町にどう当てはめるかが重要だとの意見等を頂きました。

初めての事であり、報告に戸惑い町民の皆様への期待に応えられなかった事等改善していきたいと思います。



民生文教常任委員会の報告

議会改革特別委員会

質問・意見等

- (1) 議員報酬について
報酬より先に定数の議論ではないのか、という町民の意見が多い。
・ 議員報酬は全国平均・長野県平均はいくら。近隣市町村との比較も大事。
・ 若者に議会に出てもらうことは賛成だが、町民の意見を汲み上げているのか。町民アンケートが必要ではないか。
・ 議員報酬を引き上げるとは議員の高齢化を防ぎ、若年層や女性を増やす上で有効である。
・ 6月に特別委員会を設置し、12月議会へ提出するというのは期間が短すぎる。

(2) 議員定数について

- ・ 小海町の地域性に合わせて12名必要であれば現状を維持し、定数の適正化を検討すべきである。
- ・ 議員定数と報酬はリンクさせないで別々に考えた方がよい。
- ・ 町議会運営の柔軟性と議員活動の活性化という観点で必要な人数を考える。



議会改革特別委員会の報告

意見交換会

- ・ 昨年1名が辞職されているが、議会だよりでの報告はあったが議会としての説明責任を果たしていない。この間1名欠員になっているが議会運営上支障は無かったのか、先程の定数に絡んでくると思う。町民からすれば1名減でも成り立つと思うので議会としての思いを示して欲しい。議会は町政を行っていく上で一番大事な役割を果たすものです。多くの町民が納得できるような形でぜひ町民の結果を知らせて欲しい。

参加者のアンケート結果

【意見・感想・要望】

- ・ 定期的に開催して欲しい。報告会だけでなく意見交換会だけでも良い。
- ・ 町民の参加人数が少なかった。年配の方が多く若い人が少なく感じた。
- ・ 議員報酬については資料不足。アップする金額が不明。他町村の状況が不明。
- ・ 視察に行った結果を小海町にどう活用できるのか報告が欲しかった。
- ・ 分科会方式により、テーマ別勉強会を開催したらどうか。
- ・ 議会だよりに請願・陳情の審議結果を議員の賛否と共に載せて欲しい。
- ・ 子供を見ってくれる人が欲しかった。若い人への対策が必要。
- ・ たくさんの人が集まってもらいたい意見を聞く機会をつくる努力をして欲しい。

議会報告会アンケート集計結果

年代

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～
実数	14	0	0	0	2	4	1	7
構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	7.1%	50.0%

知ったきっかけ

	全体	回覧板	口コミ	ポスター	HP	その他
実数	14	10	2	0	1	1
構成比	100.0%	71.4%	14.3%	0.0%	7.1%	7.1%

参加した理由

	全体	興味があった	知人に勧められた	その他
実数	14	11	2	1
構成比	100.0%	78.6%	14.3%	7.1%

①内容について

	全体	大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった
実数	14	1	5	5	3	0
構成比	100.0%	7.1%	35.7%	35.7%	21.4%	0.0%

②内容のわかりやすさ

	全体	大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった
実数	14	0	7	5	2	0
構成比	100.0%	0.0%	50.0%	35.7%	14.3%	0.0%



長野県町村議会議長会表彰

長年の議長としての功績が讃えられ、長野県町村議会議長会より、有坂辰六議長が表彰されました。



議会を傍聴してみませんか

次回定例会は 3月開催予定です

議会ではどんな発言をしているのか、またどんなまちづくりを考えているのか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひ、お越し下さい。



車椅子をご利用の方は、議場内の専用スペースで傍聴することができます。



役場庁舎1階と3階においてライブ配信も行っております。

議会に関する事は町ホームページをご覧ください。
定例会一般質問をYouTubeにより視聴ができます。

また、会議録もホームページへ掲載しておりますので、ご覧ください。



小海町議会

検索

詳しくは、**議会事務局**電話 0267-92-2525 (内線300・301) にお問い合わせください。

編集後記

壁という言葉が流行りました。私達は発達過程でぶつかる壁を自分の力で乗り越え、更なる前進を目指してきました。しかし、103万円等の壁は他人の力、私達が負託した力でしか解決できない。政争の具とせず、103万円等の壁は負託した人の期待に応える結論を期するものです。

昨年は、京都清水寺で今年の漢字として、金が発表されました。

パリオリンピック・パラリンピックの金は光を表し、政治の裏金は影を表すと二つの意味を示すとのこと。佐渡金山が世界遺産に登録され、これも光を表す。

金を影にした人は負託した人の期待を裏切る行為をしたと言わざるを得ない。小さい町の私達も負託の重要性を再認識する流行語でした。

(編集委員 篠原 伸男)

編集責任者 有坂 辰六

編集委員長 篠原 哲雄

編集委員 篠原 伸男

編集委員 井出 幸実

編集委員 的埜美香子